

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



勇壮な舞 (4月29日 日名交流館かぐら)

国指定重要無形文化財「備中神楽」の基礎を確立した西林国橋を顕彰する「国橋まつり大神楽大会」が行われました。県内の名神楽太夫による熱演に、訪れた神楽ファン約2000人は、迫力のある舞を堪能しました。

山里の桜まつり (4月15日 たかうね桜の森公園)

宇治町で「第5回たかうね桜まつり」が開かれ、芸能発表などを楽しみました。地元グループの大正琴や銭太鼓などの演奏や、市内交通安全啓発活動グループ・ハッサンズによる寸劇が行われました。

同公園は、地元住民が2001年に2001本の桜を植樹し整備しました。



料理を通じて異文化交流 (4月21日 高梁総合福祉センター)

吉備国際大学の留学生（中国、韓国、カンボジア）と市民が「異文化交流フェスタ」（市国際交流協議会など主催）を通じて交流を深めました。

料理教室では、中国の水ギョーザや韓国のプルコギ、カンボジアのデザート・ポボソンドュークなど4種類の料理に挑戦。また、座談会や太極拳、備中神楽の披露もありました。



100歳おめでとうございます (4月20日 介護老人保健施設ひだまり苑)

100歳の誕生日を迎えられた金高千代子さん（川上町地頭）を市長らが訪問し、記念品や花束を贈って長寿を祝いました。

金高さんは、明治40年4月20日生まれ。長寿の秘訣は「規則正しい生活と、好き嫌いせず何でも食べること」だそうです。

市内で100歳以上の人は、5月1日現在で25人（男性5人、女性20人）。





弥高山の自然を満喫

(4月22日 弥高山公園)

「弥高つつじ祭」が開かれ、あいにくの雨にもかかわらず、大勢の家族連れらが園内に咲くつつじの中、祭を楽しみました。

ステージでは、川上町子供神楽育成会による子ども神楽やテレビの人気キャラクター「獣拳戦隊ゲキレンジャー」ショーなどが行われました。

また、地元グループによるこんにやくやヤマメの塩焼きなどの出店も人気を集めていました。

青空の下はつらつプレー

(4月29日 やすらぎの里ふれあい広場)

「備中公民館ふれあいソフトボール大会」が行われ、9チーム約120人が参加しました。

参加者たちは、チームを越えてふれあいを深めながら、青空の下プレーを楽しんでいました。



常山公園で人形劇まつり

(5月5日 うかん常山公園)

ゴールデンウィーク恒例の「うかん人形劇まつり」が開かれました。

訪れた親子連れらは、地元グループ「クッキー」による人形劇や真庭市のコスモスレンジャーショーを楽しみました。

清掃とマス釣り大会

(5月4日 方谷の里ふれあいセンター)

中井町西方の佐伏川で「清掃とマス釣り大会」(同町清流を守る会主催)が開かれ、市内外から家族連れら約500人が参加しました。

豊かな自然を残すことを目的にゴールデンウィークに行われている恒例行事で、釣りに先立ち、参加者は川沿いのごみを拾いながら釣り場まで移動。釣り場にはニジマスとヤマメ計3500匹が放流され、開始の合図とともにあちこちで歓声が上がっていました。



今月の 表紙

にぎわうピノキオランド

～ゴールデンウィークの弥高山公園～

晴天に恵まれ、絶好の行楽日和となった4月29日、弥高山公園には多くの家族連れが訪れていました。中でも、4月3日にオープンしたばかりの遊具施設「ピノキオランド」は子どもたちに大人気。滑り台やブランコなど、さまざまな遊具で遊ぶ子どもたちの笑顔があふれていました。